

2020 年 6 月 30 日

各 位

株式会社三十三フィナンシャルグループ

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」にかかる KPI の公表について

三十三フィナンシャルグループは、お客さまの安定的な資産形成に資する金融商品・サービスの提供を実現するため、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以下、「基本方針」といいます。）を制定・公表しておりますが、今般、「基本方針」にかかる KPI として、2019 年度の実績を公表しましたので、お知らせいたします。

今後も引続き「お客さま本位の業務運営」を実践し、お客さまのご要望に幅広くお応えできるよう、商品・サービスの品質向上に努めてまいります。

記

1. 公表する KPI

（１）金融庁が指定する「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI（３項目）」

（２）三重銀行、第三銀行が独自で定める「自主的 KPI（１３項目）」

※内容については別紙をご参照ください。

2. その他

「基本方針」および「KPI」については、当社および三重銀行、第三銀行のホームページに掲載しております。

【URL】 https://www.33fg.co.jp/fd_kihonhoshin.html

以 上

[お問い合わせ先]

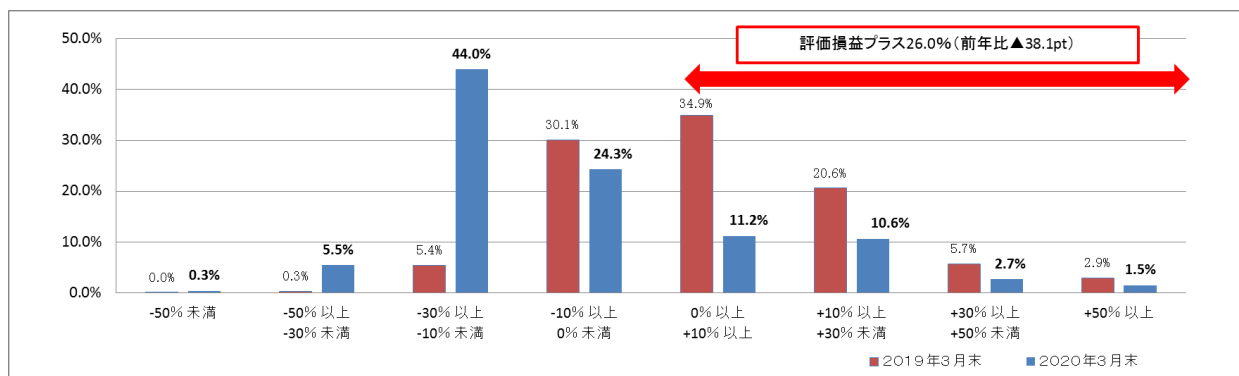
担 当	三重銀行 営業企画部	森	059-354-7302
	第三銀行 営業推進部	中 島	0598-25-0353

三重銀行 2019 年度の取組み

共通KPI

<投資信託の運用損益別顧客比率>

お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況について、損益別のお客さまの比率をお示しています。相場下落の影響が大きく、投資信託の運用損益がプラスのお客さまは、全体の 26.0%と前年比減少しています。



※当行ではファンドラップの取扱いはありません。

<投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン>

お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位20銘柄について、コストに対するリターン、リスクに対するリターンをお示しています。

相場下落が大きく、リターンがコストを上回った商品は、20銘柄中1銘柄になりました。リスク・リターンに関してはばらつきがありますが、お客さまのニーズやリスク許容度、資金の性格等を踏まえた提案を行ってまいりました。

※本共通KPIは、金融庁が公表した基準に基づき算出しております。

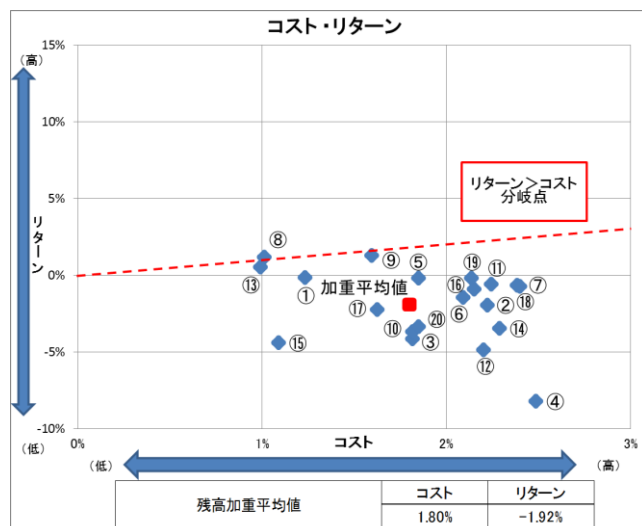
【対象銘柄】設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄(2020年3月末時点／対象銘柄は下に記載)

【コスト】基準日時点の販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

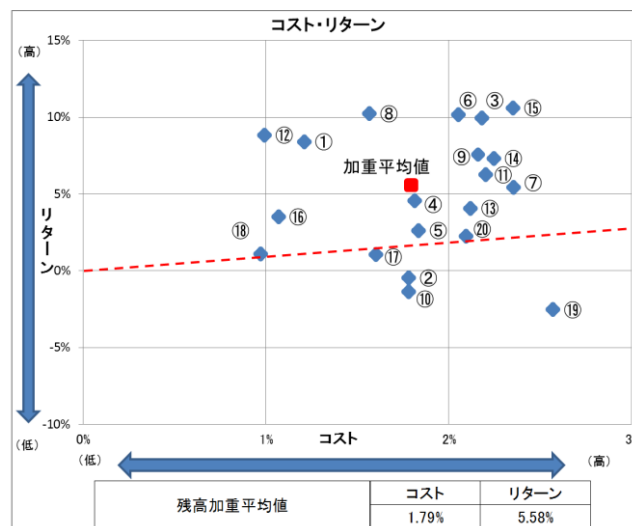
【リスク】過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算) 【リターン】過去5年間のトータルリターン(年率換算)

<コスト・リターン>

【2020年3月末基準】

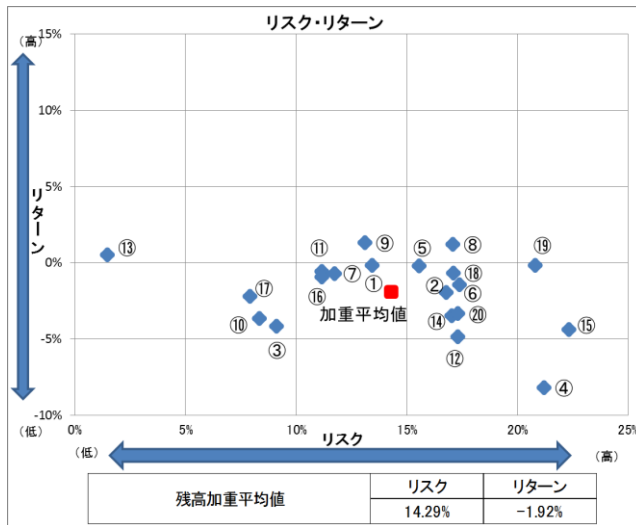


【2019年3月末基準】

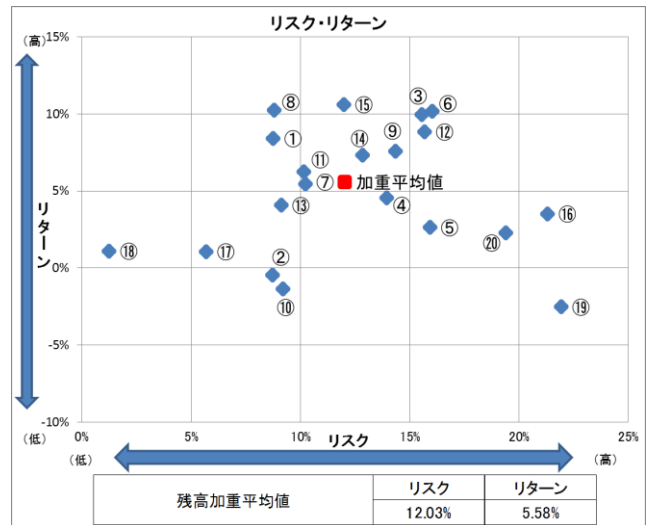


＜リスク・リターン＞

【2020 年 3 月末基準】



【2019 年 3 月末基準】



＜預り残高上位20銘柄＞

【2020 年 3 月末基準】

NO.	ファンド名	コスト	リスク	リターン	NO.	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	1.23	13.42	▲ 0.16	⑪	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.24	11.15	▲ 0.57
②	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	16.77	▲ 1.93	⑫	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	2.20	17.29	▲ 4.84
③	ハイグ・リード・オセニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.82	9.11	▲ 4.15	⑬	ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）	0.99	1.46	0.53
④	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.49	21.19	▲ 8.20	⑭	D I A Mワールド・リート・インカム・オープン（毎月決算コース）	2.29	17.01	▲ 3.46
⑤	グローバル好配当株オープン	1.85	15.56	▲ 0.20	⑮	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	22.31	▲ 4.40
⑥	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.09	17.37	▲ 1.43	⑯	フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）	2.15	11.15	▲ 0.92
⑦	フィデリティ・USAハイ・イールド・ファンド	2.40	11.74	▲ 0.71	⑰	トレンド・アロケーション・オープン	1.62	7.90	▲ 2.22
⑧	ストックインデックスファンド225	1.01	17.07	1.20	⑱	アジア好利回りリート・ファンド	2.38	17.10	▲ 0.67
⑨	フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	1.60	13.10	1.30	⑲	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.13	20.78	▲ 0.19
⑩	ダイワ高格付カナダドル債オープン	1.82	8.34	▲ 3.66	⑳	フィデリティ・日本配当成長株・ファンド（分配重視型）	1.85	17.30	▲ 3.34

【2019 年 3 月末基準】

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン	順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	1.21	8.76	8.41	⑪	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.20	10.16	6.26
②	ハイグ・リード・オセニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.78	8.72	▲ 0.46	⑫	ストックインデックスファンド225	0.99	15.69	8.85
③	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.18	15.56	9.96	⑬	フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）	2.12	9.12	4.07
④	グローバル好配当株オープン	1.81	13.94	4.56	⑭	D I A Mワールド・リート・インカム・オープン（毎月決算コース）	2.25	12.84	7.32
⑤	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	1.84	15.92	2.63	⑮	アジア好利回りリート・ファンド	2.35	12.00	10.62
⑥	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.05	16.02	10.18	⑯	トヨタグループ株式ファンド	1.07	21.30	3.52
⑦	フィデリティ・USAハイ・イールド・ファンド	2.35	10.23	5.44	⑰	トレンド・アロケーション・オープン	1.60	5.69	1.07
⑧	フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	1.57	8.81	10.24	⑱	ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）	0.97	1.25	1.11
⑨	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	2.16	14.34	7.57	⑲	北米エネルギーファンド（毎月決算型）	2.57	21.92	▲ 2.53
⑩	ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）	1.78	9.20	▲ 1.37	⑳	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.10	19.39	2.27

自主的KPI

<当行ラインアップ>

お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実を図っています。

※新規購入可能な商品のみを記載しています。

◆投資信託

カテゴリー		取扱本数
国内	債券	5
	株式	12
	REIT	3
	その他	0
海外	債券	30
	先進国	15
	新興国	8
	ハイイールド	7
	株式	36
	先進国	30
	新興国	6
	REIT	11
バランス		19
その他		2
合計		118

※うちノーロードファンド28本

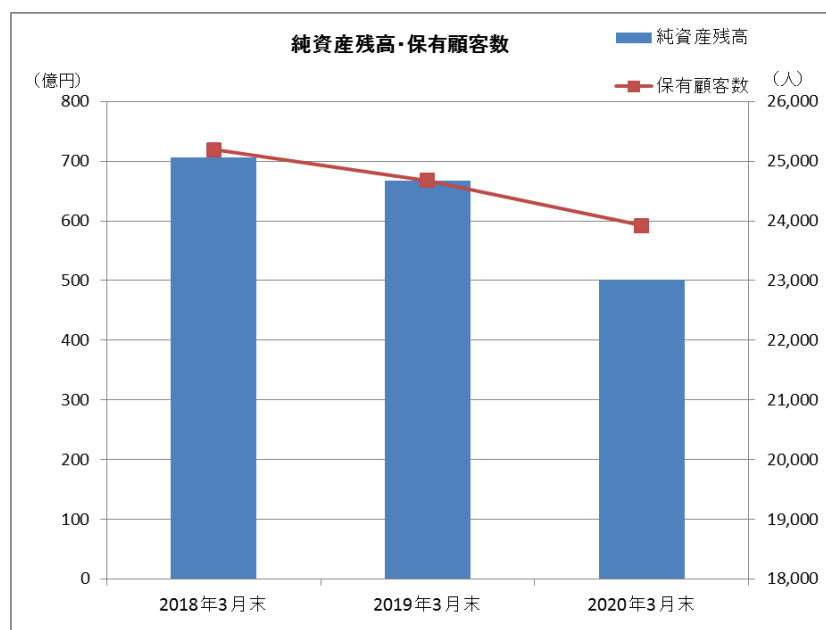
◆生命保険(個人向け)

カテゴリー		取扱本数
変額個人年金保険		2
	うち円貨	0
	うち外貨	2
定額個人年金保険		7
	うち円貨	1
	うち外貨	6
一時払終身保険		17
	うち円貨	7
	うち外貨	10
平準払終身保険		5
	うち円貨	2
	うち外貨	3
養老保険		1
医療保険		8
がん保険		1
収入保障保険、定期保険		2
合計		43

<投資信託純資産残高・保有顧客数>

お客さまの安定的な資産形成のお役に立てるよう、投資信託のご提案に取り組んでおりますが、2020年3月末については、純資産残高・保有顧客数ともに減少となりました。

「お客さま本位」の取組を通じてお客さまにご満足いただくことで、お客さまにお選びいただける銀行であり続けられるよう努めてまいります。



＜販売額上位ファンド＞

お客さまの高いニーズを背景として、毎月分配型ファンドの販売が増加しました。

順位	2019年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
2	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
3	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%
4	フィデリティ・日本小型株・ファンド	年1回	3.0%
5	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
6	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
7	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
8	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-07 (為替ヘッジあり・限定追加型)	年2回	2.0%
9	eMAXIS 日経225インデックス	年1回	ノーロード
10	米国国債ファンド 為替ヘッジなし(毎月決算型)	毎月	2.0%

順位	2018年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%
3	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
4	トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
5	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
6	グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%
8	eMAXIS 日経225インデックス	年1回	ノーロード
9	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
10	グローバルAIファンド	年1回	3.0%

＜積立投資信託申込件数上位ファンド＞

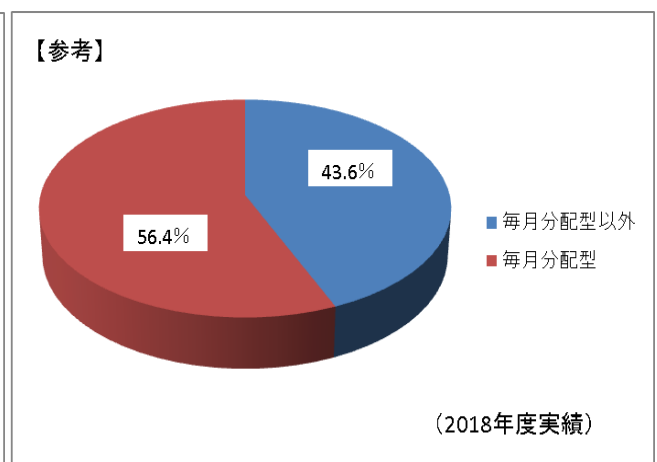
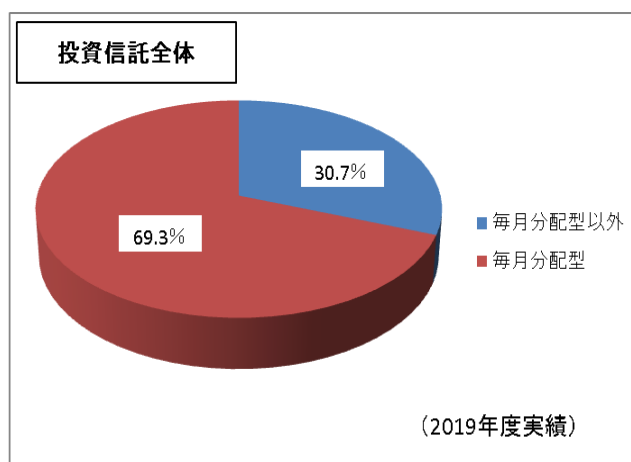
長期積立分散投資の推進により、引続きつみたて NISA 専用ファンドが上位にランクインしています。

順位	2019年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
2	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
3	【つみたてNISA専用】 SMT 日経225インデックス・オープン	年1回	ノーロード
4	【つみたてNISA専用】 SMT 8資産インデックスバランス・オープン	年1回	ノーロード
5	【つみたてNISA専用】 SMT グローバル株式インデックス・オープン	年1回	ノーロード
6	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
7	グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	年1回	3.0%
8	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
9	【つみたてNISA専用】 SMT 世界経済インデックス・オープン	年1回	ノーロード
10	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%

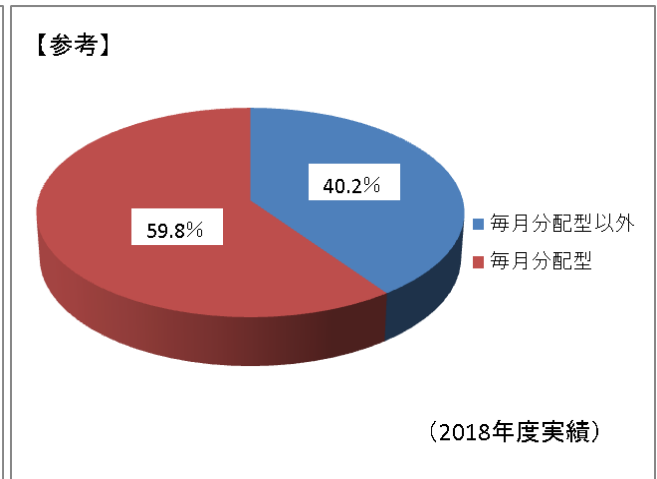
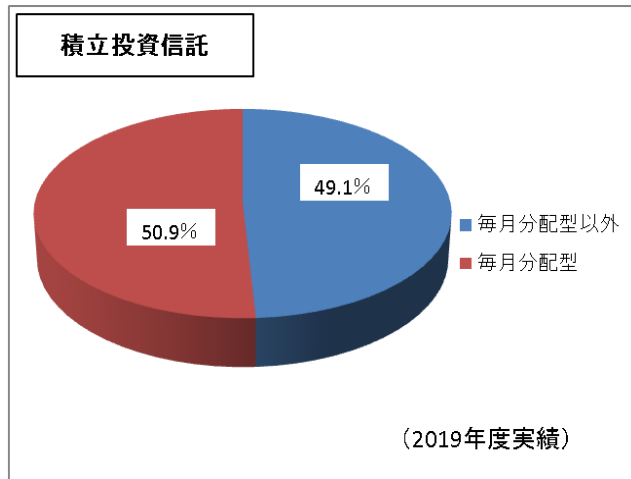
順位	2018年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
3	【つみたてNISA専用】 SMT 日経225インデックス・オープン	年1回	ノーロード
4	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%
5	【つみたてNISA専用】 SMT 8資産インデックスバランス・オープン	年1回	ノーロード
6	トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
7	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
8	【つみたてNISA専用】 SMT グローバル株式インデックス・オープン	年1回	ノーロード
9	eMAXIS 日経225インデックス	年1回	ノーロード
10	【つみたてNISA専用】 SMT 世界経済インデックス・オープン	年1回	ノーロード

＜毎月分配型投資信託販売比率（金額ベース）＞

毎月分配型である販売額上位3銘柄が他のファンドに比べ前年比大きく増加したことで、毎月分配型投資信託販売比率が増加しました。一方で、積立投資信託においては、長期積立分散投資の観点から、積立にふさわしい商品の案内に努めた結果、毎月分配型の販売比率が減少しました。

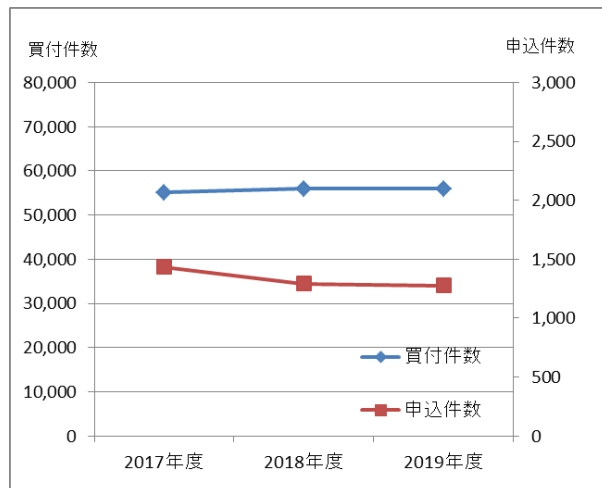


＜毎月分配型投資信託販売比率 うち積立投資信託／金額ベース＞



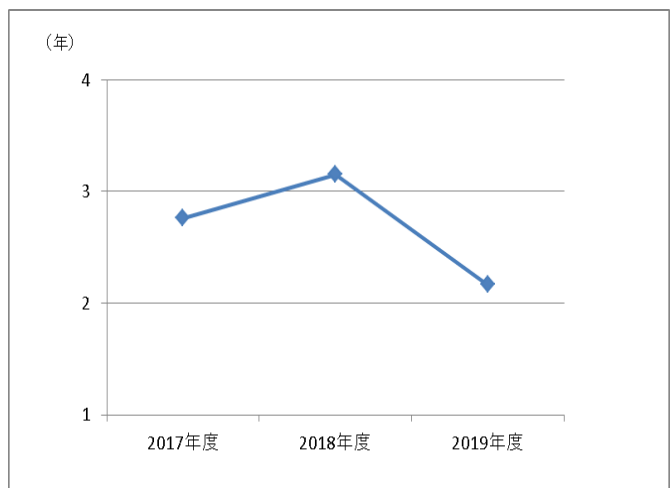
＜積立投資信託 買付件数／申込件数＞

長期積立分散投資の推奨により、積立投資信託の買付件数は一定水準を保っております。



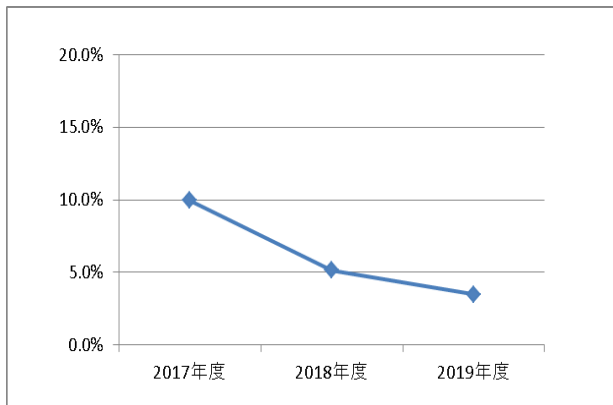
＜投資信託平均保有期間＞

「投資信託純資産平均残高÷解約額」にて算出しています。純資産残高の減少および運用好調であったファンドの利益確定による解約が増加したこと等から、投資信託平均保有期間は3.2年から2.2年となりました。



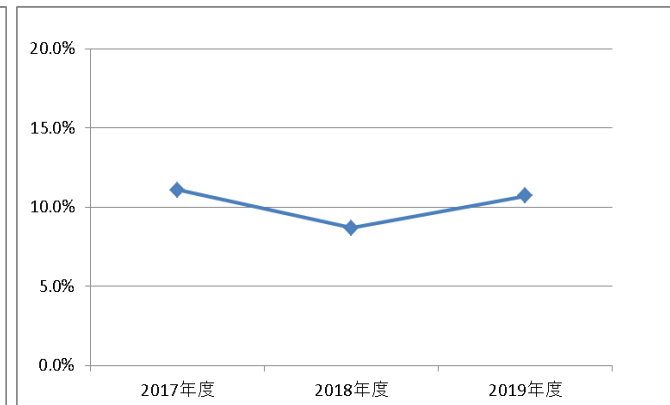
＜投資信託メインファンド販売比率＞

特定のテーマ型商品の販売が好調であったことから全体としてメインファンド販売比率は低下しました。



＜投資信託純資産残高に対する分配金の割合＞

純資産残高の減少および毎月分配型投資信託の販売増加により、純資産残高に占める分配金の割合は上昇しました。

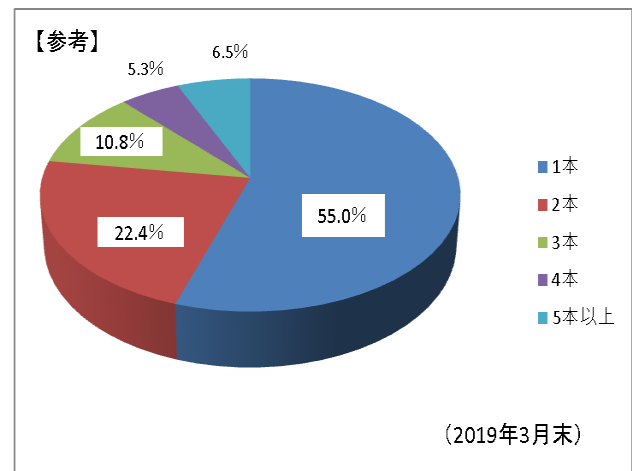
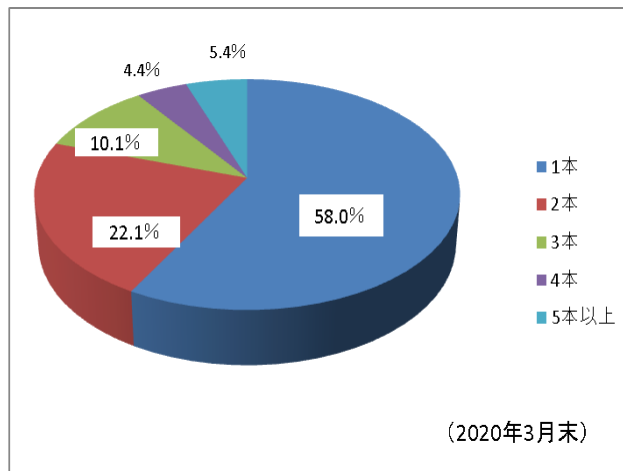


【メインファンド】当行取扱いファンドのうち、複数の資産に分散するファンド、低リスクで安定的な値動きのファンド、自動的に資産配分を見直す機能があるファンド等安定的な運用を目的とするファンドを指します。

＜投資信託 複数銘柄保有顧客比率＞

投資信託を保有されているお客さまの保有銘柄数別の比率をお示しています。

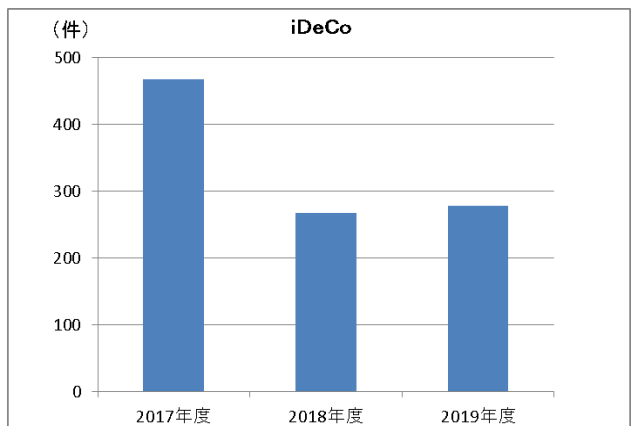
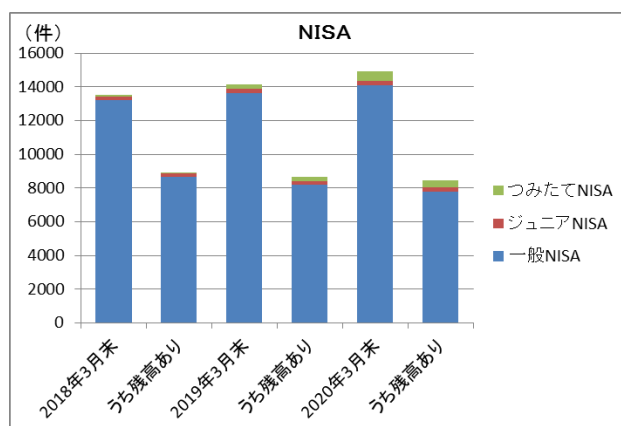
前年比やや悪化していることを踏まえ、引続きお客さまの安定的な資産形成に資するよう、複数銘柄の保有による分散投資のご提案を推進いたします。



＜NISA 口座数推移／iDeCo 受付件数＞

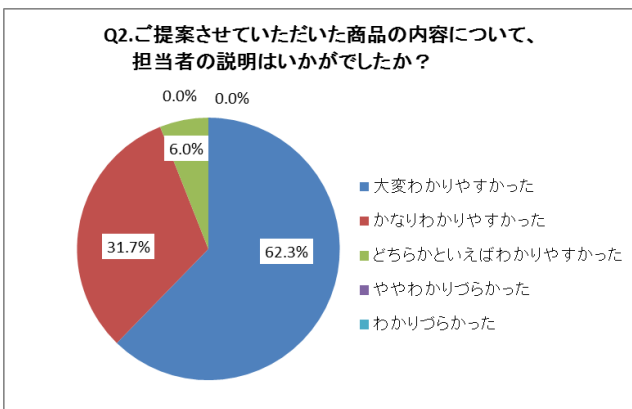
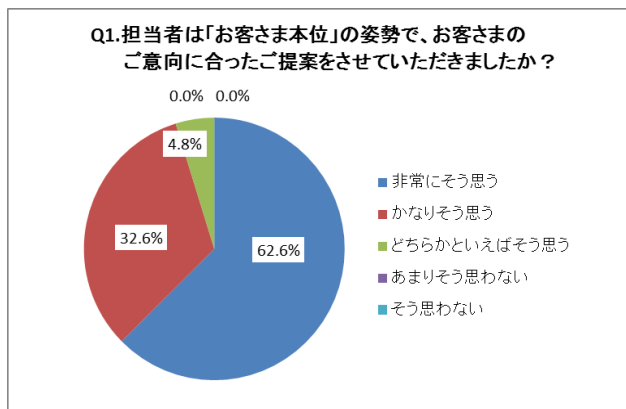
税制面の優遇がある制度として、NISA・iDeCoを推奨しています。

NISAについては、着実に口座数が増加しています。iDeCoについては前年比微増となりました。

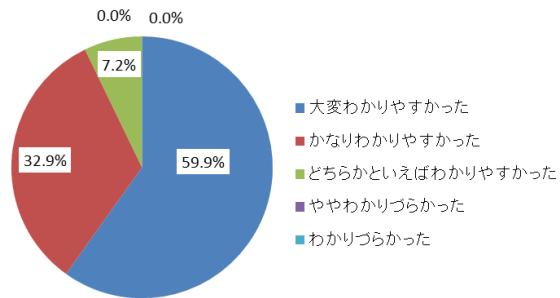


＜お客さまアンケート結果＞

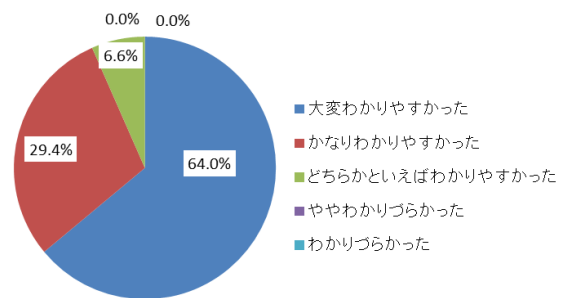
当行の金融商品販売が「お客さま本位」であるかを検証するため、金融商品を購入していただいたお客さまにアンケートを実施しており、結果については概ね良好となっています。今後も、お客さまに選ばれる銀行であり続けられるよう、引続き「お客さま本位」の金融商品販売を実践いたします。



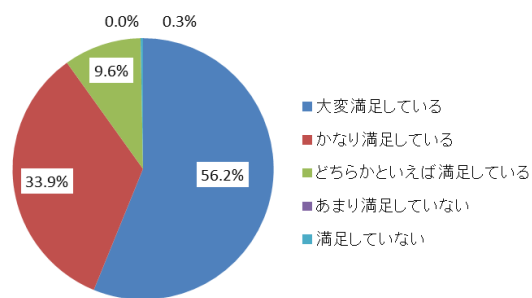
Q3.ご提案させていただいた商品のリスクおよび程度について担当者の説明はいかがでしたか？



Q4.ご提案させていただいた商品の費用の内容および金額について、担当者の説明はいかがでしたか？

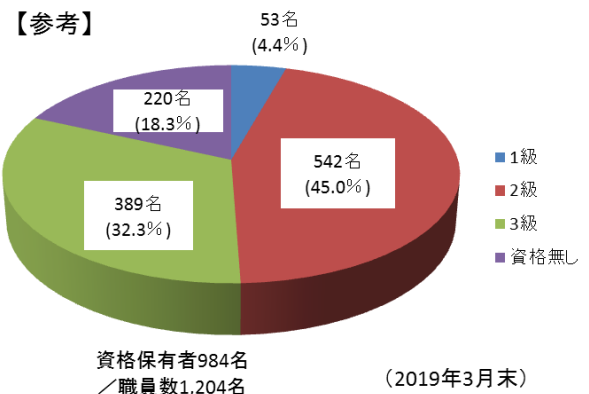
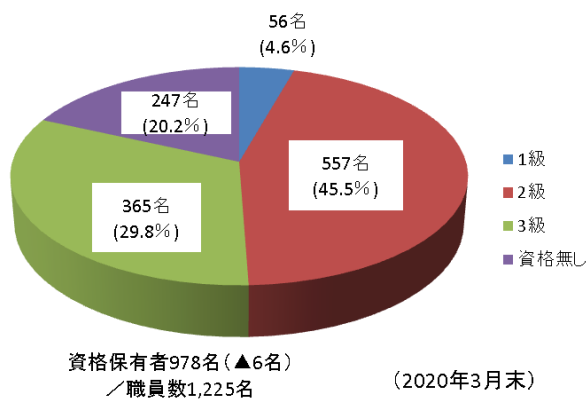


Q5.今回のお申込みに関するお客様の満足度はいかがですか？



＜ファイナンシャルプランニング技能士 資格保有者数＞

より質の高い提案を行うため、職員のファイナンシャルプランニング技能士資格取得を推奨しています。
資格保有者数については、引続き高い水準を維持しています。

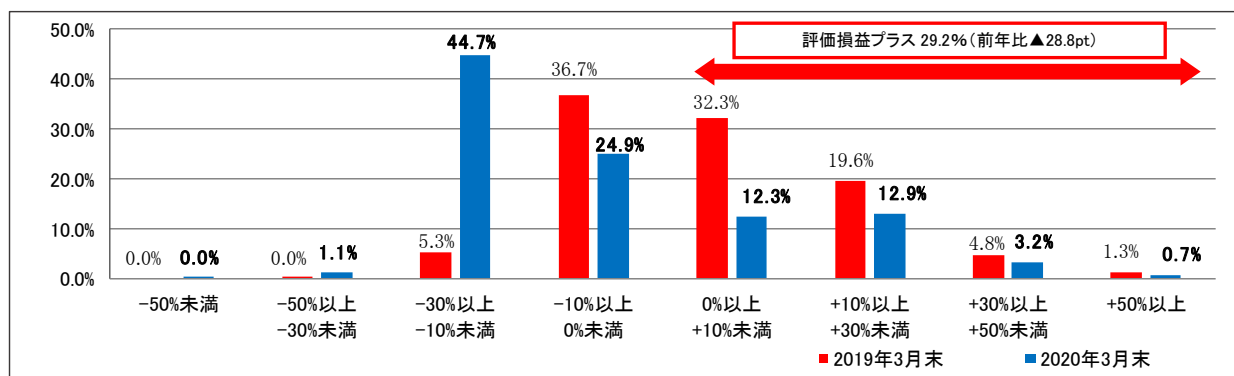


以 上

共通KPI

<投資信託の運用損益別顧客比率>

お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況について、損益別のお客さまの比率をお示しています。相場下落の影響が大きく、投資信託の運用損益がプラスのお客さまは、全体の 29.2%と前年比減少しています。



※当行ではファンドラップの取扱いはありません。

<投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン>

お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位20銘柄について、コストに対するリターン、リスクに対するリターンをお示しています。

相場下落の影響もあり、リターンがコストを上回った商品は、20銘柄中3銘柄になりました。リスク・リターンに関してはばらつきがありますが、お客さまのニーズやリスク許容度、資金の性格等を踏まえた提案を行ってまいりました。

※本共通KPIは、金融庁が公表した基準に基づき算出しております。

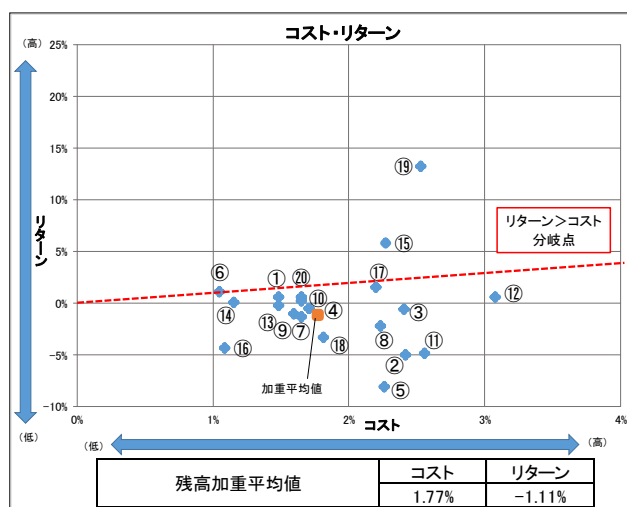
【対象銘柄】設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄(2020年3月末時点／対象銘柄は下に記載)

【コスト】基準日時点の販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

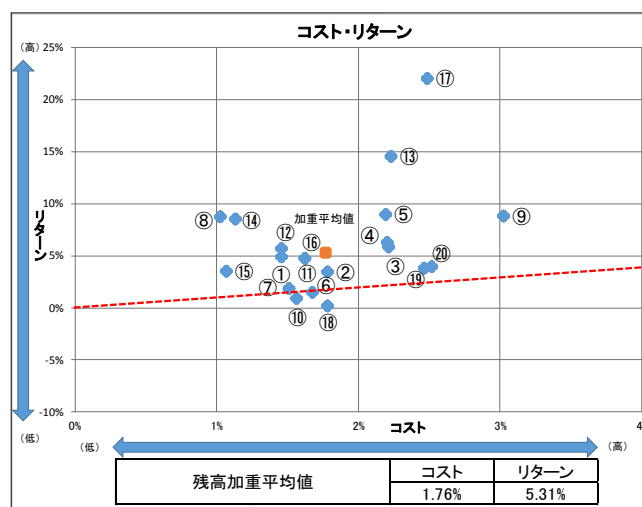
【リスク】過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算) 【リターン】過去5年間のトータルリターン(年率換算)

<コスト・リターン>

【2020年3月末基準】

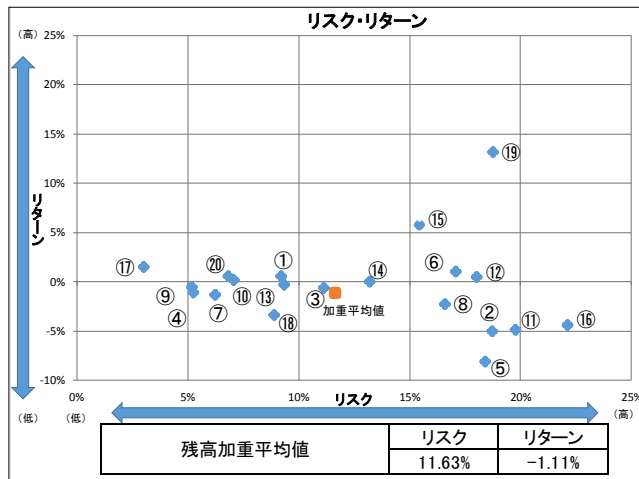


【2019年3月末基準】

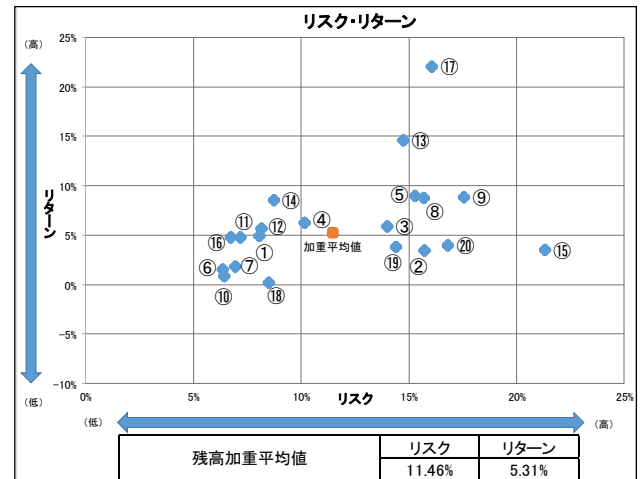


＜リスク・リターン＞

【2020 年 3 月末基準】



【2019 年 3 月末基準】



＜預り残高上位20銘柄＞

【2020 年 3 月末基準】

No.	ファンド名	コスト	リスク	リターン	No.	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49%	9.21%	0.54%	⑪	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	2.56%	19.76%	▲4.89%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	18.73%	▲5.02%	⑫	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	18.04%	0.53%
③	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40%	11.15%	▲0.60%	⑬	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49%	9.36%	▲0.28%
④	グローバル・ソブリン・オープン（3ヶ月決算型）	1.71%	5.19%	▲0.56%	⑭	MHAM J-REIT インデックスファンド	1.16%	13.24%	0.04%
⑤	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	18.40%	▲8.10%	⑮	ニッセイ健康応援ファンド	2.27%	15.44%	5.79%
⑥	MHAM 株式インデックスファンド225	1.05%	17.08%	1.08%	⑯	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.12%	▲4.40%
⑦	パン・パシフィック外国債券オープン	1.65%	6.22%	▲1.35%	⑰	投資のソムリエ	2.20%	3.02%	1.52%
⑧	新光 US-REIT オープン	2.23%	16.59%	▲2.24%	⑱	MHAM 豪ドル債券ファンド（毎月決算型）	1.82%	8.90%	▲3.37%
⑨	ワールド・ソブリンインカム	1.60%	5.26%	▲1.07%	⑲	新成長株ファンド	2.53%	18.75%	13.20%
⑩	三重県応援ファンド	1.65%	7.09%	0.19%	⑳	MHAM トリニティオープン	1.65%	6.83%	0.59%

【2019 年 3 月末基準】

No.	ファンド名	コスト	リスク	リターン	No.	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.46%	8.05%	4.90%	⑪	三重県応援ファンド	1.62%	7.18%	4.73%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	1.78%	15.73%	3.46%	⑫	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.46%	8.15%	5.68%
③	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	13.99%	5.87%	⑬	ニッセイ健康応援ファンド	2.23%	14.74%	14.60%
④	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.20%	10.16%	6.26%	⑭	MHAM J-REIT インデックスファンド	1.13%	8.73%	8.51%
⑤	新光 US-REIT オープン	2.19%	15.30%	8.98%	⑮	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.07%	21.31%	3.52%
⑥	グローバル・ソブリン・オープン（3ヶ月決算型）	1.67%	6.35%	1.49%	⑯	MHAM トリニティオープン	1.62%	6.73%	4.79%
⑦	パン・パシフィック外国債券オープン	1.51%	6.94%	1.84%	⑰	新成長株ファンド	2.48%	16.08%	22.04%
⑧	MHAM 株式インデックスファンド225	1.03%	15.68%	8.75%	⑱	MHAM 豪ドル債券ファンド（毎月決算型）	1.78%	8.49%	0.18%
⑨	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02%	17.56%	8.81%	⑲	ワールド・インフラ好配当株式ファンド（毎月決算型）	2.46%	14.40%	3.79%
⑩	ワールド・ソブリンインカム	1.57%	6.42%	0.88%	⑳	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	2.52%	16.82%	3.95%

自主的KPI

<当行ラインアップ>

お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実を図っています。

※新規購入可能な商品のみを記載しています。

◆投資信託

カテゴリー		取扱本数
国内	債券	2
	株式	12
	REIT	2
	その他	0
海外	債券	8
	先進国	5
	新興国	1
	ハイイールド	2
	株式	25
	先進国	21
	新興国	4
	REIT	4
バランス		9
その他		2
合計		64

※うちノーロードファンド8本

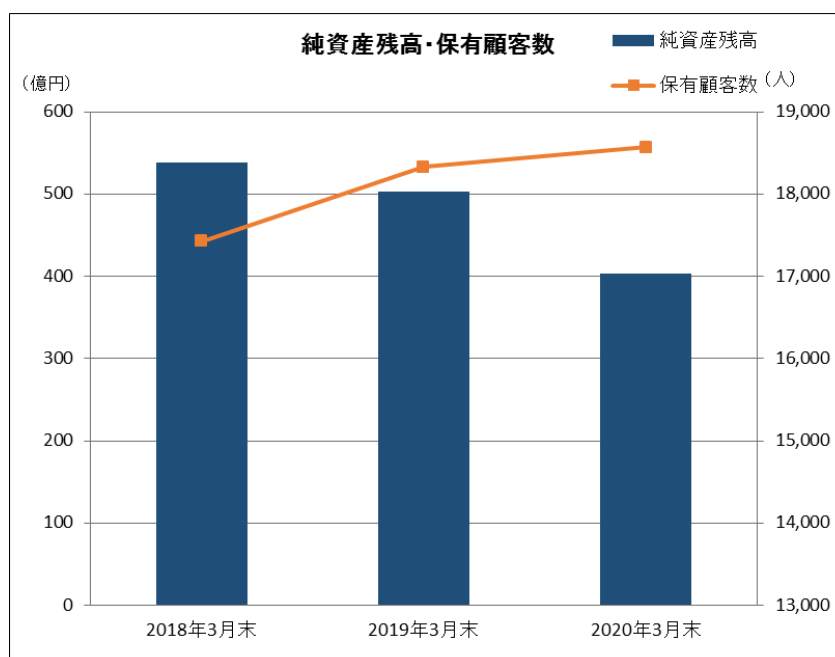
◆生命保険(個人向け)

カテゴリー		取扱本数
変額個人年金保険		3
	うち円貨建	0
	うち外貨建	3
定額個人年金保険		7
	うち円貨建	2
	うち外貨建	5
一時払終身保険		15
	うち円貨建	3
	うち外貨建	12
平準払終身保険		20
	うち円貨建	16
	うち外貨建	4
変額保険		1
養老保険		3
医療保険		22
がん保険		9
収入保障保険		12
定期保険		10
学資保険		2
介護保険		2
合計		106

<投資信託純資産残高・保有顧客数>

お客さまの安定的な資産形成のお役に立てるよう、投資信託のご提案に取り組んでおりますが、2020年3月末については、保有顧客数は増加したものの、相場下落の影響もあり純資産残高は減少致しました。

「お客さま本位」の取組を通じてお客さまにご満足いただくことで、お客さまにお選びいただける銀行であり続けられるよう努めてまいります。



＜販売額上位ファンド＞

相場環境の変化も踏まえ、お客さまのニーズに沿った提案に努めた結果、以下の通りとなりました。

順位	2019年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	毎月	2.0%
2	インベスコ 世界厳選株式オープン ＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)	毎月	3.0%
3	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
4	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	毎月	3.0%
5	投資のソムリエ	年2回	3.0%
6	MHAM株式インデックスファンド225	年1回	2.0%
7	新光US-REITオープン [毎月決算型]	毎月	2.5%
8	グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	年1回	3.0%
9	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	隔月	3.0%
10	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%

順位	2018年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	毎月	2.0%
2	ニッセイ健康応援ファンド	年1回	3.0%
3	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	毎月	3.0%
4	野村インド債券ファンド	毎月	3.0%
5	新成長株ファンド	年1回	3.0%
6	MHAM株式インデックスファンド225	年1回	2.0%
7	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
8	ジャパン・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	年2回	3.0%
9	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	年2回	3.0%
10	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	毎月	2.5%

＜積立投資信託契約件数上位ファンド＞

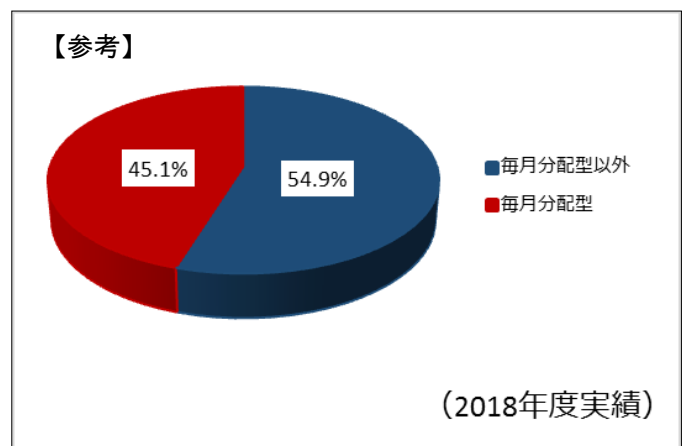
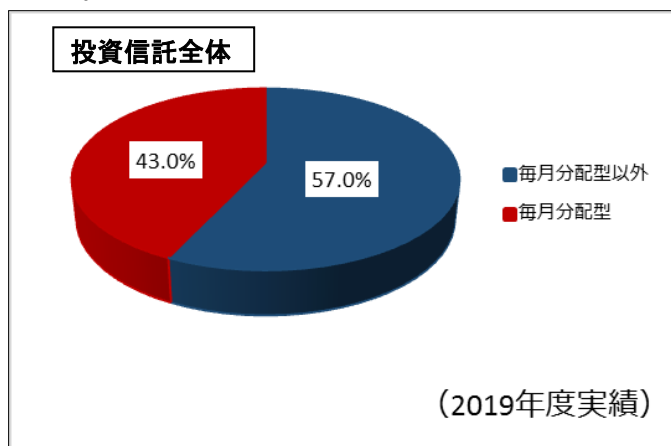
長期積立分散投資の推進により、つみたて NISA 専用ファンドの契約が増加しています。

順位	2019年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	毎月	2.0%
2	MHAM株式インデックスファンド225	年1回	2.0%
3	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	年1回	ノーロード
4	たわらノーロード 日経225	年1回	ノーロード
5	たわらノーロード 先進国株式	年1回	ノーロード
6	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	毎月	2.5%
7	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%
8	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
9	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
10	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	毎月	3.0%

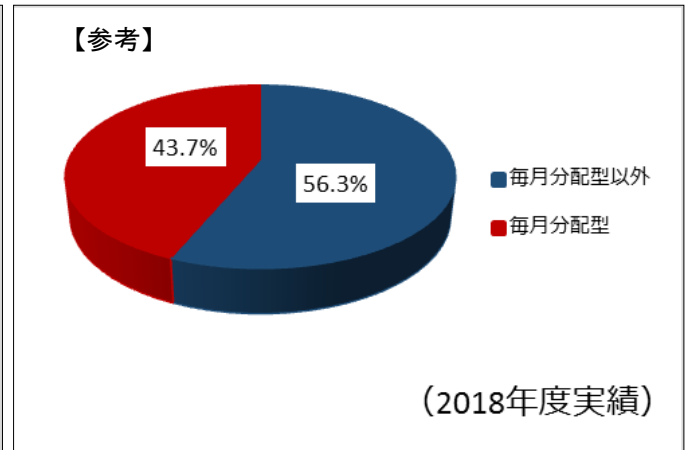
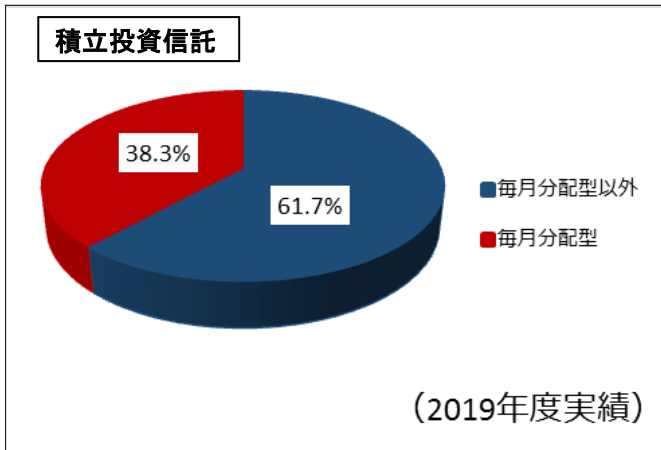
順位	2018年度実績	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	毎月	2.0%
2	MHAM株式インデックスファンド225	年1回	2.0%
3	たわらノーロード 日経225	年1回	ノーロード
4	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	年1回	ノーロード
5	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	毎月	2.5%
6	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%
7	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	毎月	3.0%
8	パン・パシフィック外国債券オープン	毎月	2.0%
9	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	年2回	3.0%
10	ジャパン・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	年2回	3.0%

＜毎月分配型投資信託販売比率（金額ベース）＞

長期分散投資の観点から、投資信託商品の案内に努めた結果、毎月分配型以外の販売比率が増加しました。

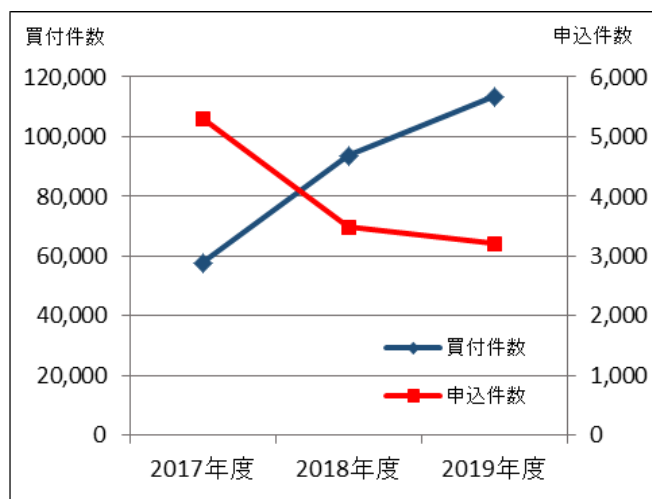


＜毎月分配型投資信託販売比率 うち積立投資信託／金額ベース＞



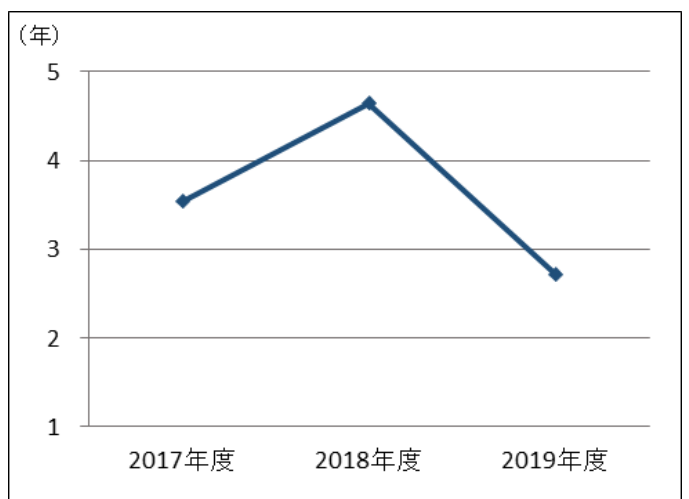
＜積立投資信託 買付件数／申込件数＞

長期積立分散投資の推奨により、積立投資信託の買付件数は増加しております。



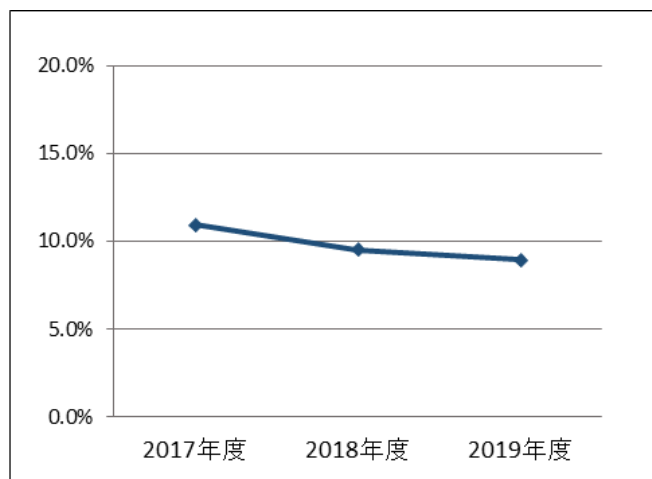
＜投資信託平均保有期間＞

「投資信託純資産残高÷解約額」にて算出しています。純資産残高の減少および利益確定による解約が増加したこと等から、投資信託平均保有期間は4.6年から2.7年となりました。



＜投資信託純資産残高に対する分配金の割合＞

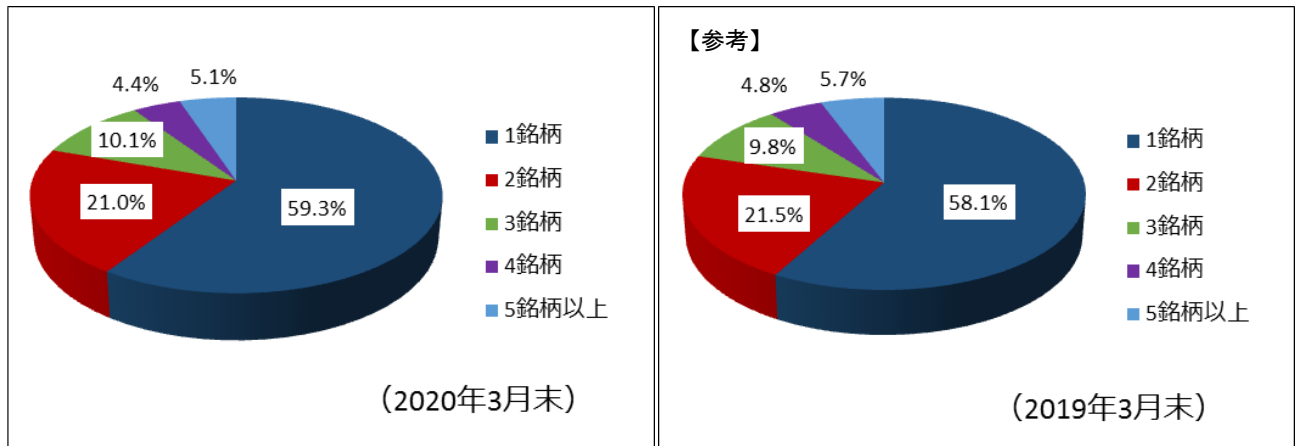
毎月分配型以外の投資信託の増加により、純資産残高に占める分配金の割合は徐々に減少しております。



＜投資信託 複数銘柄保有顧客比率＞

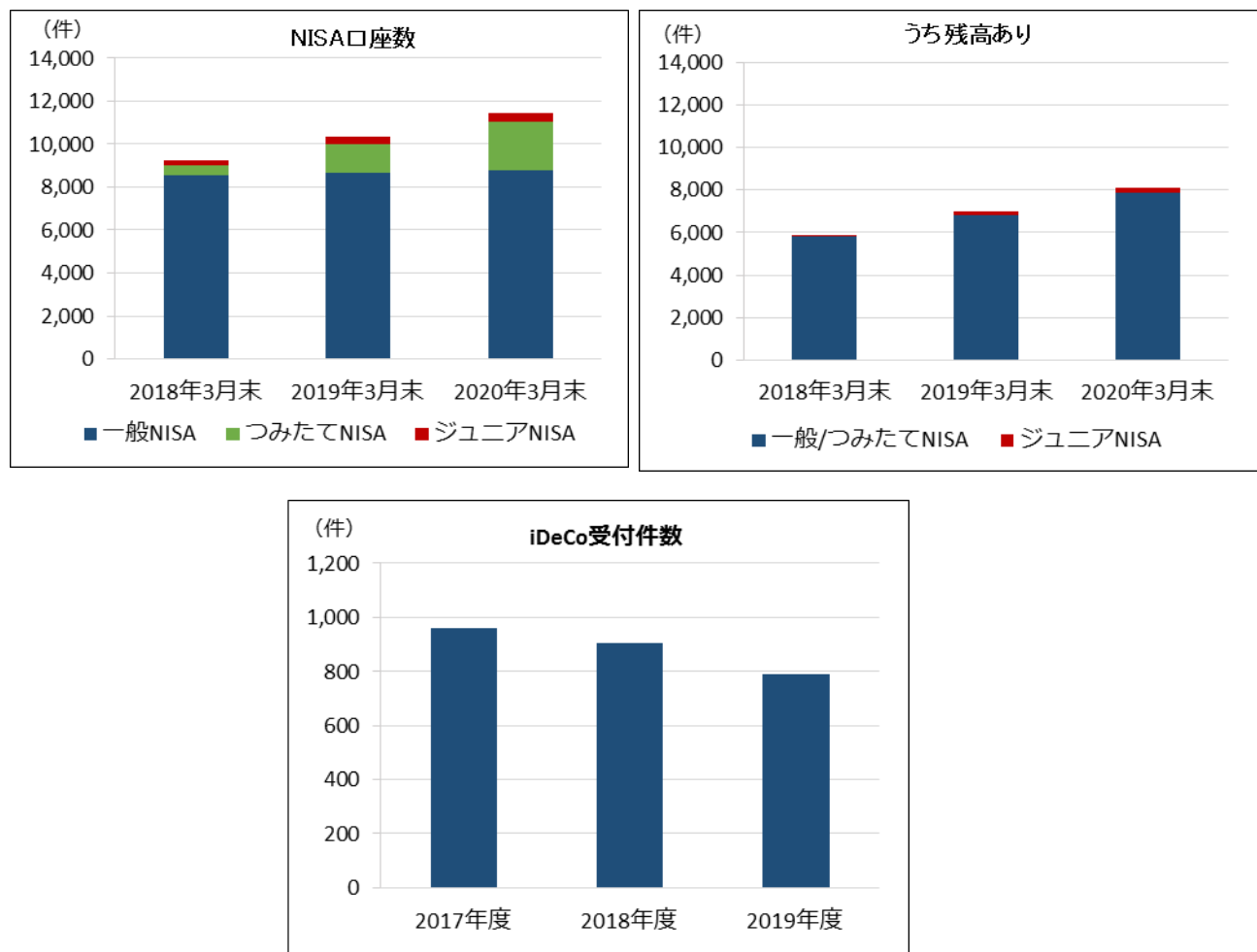
投資信託を保有されているお客さまの保有銘柄数別の比率をお示ししています。

引続きお客さまの安定的な資産形成に資するよう、複数銘柄の保有をはじめとした分散投資のご提案を推進いたします。



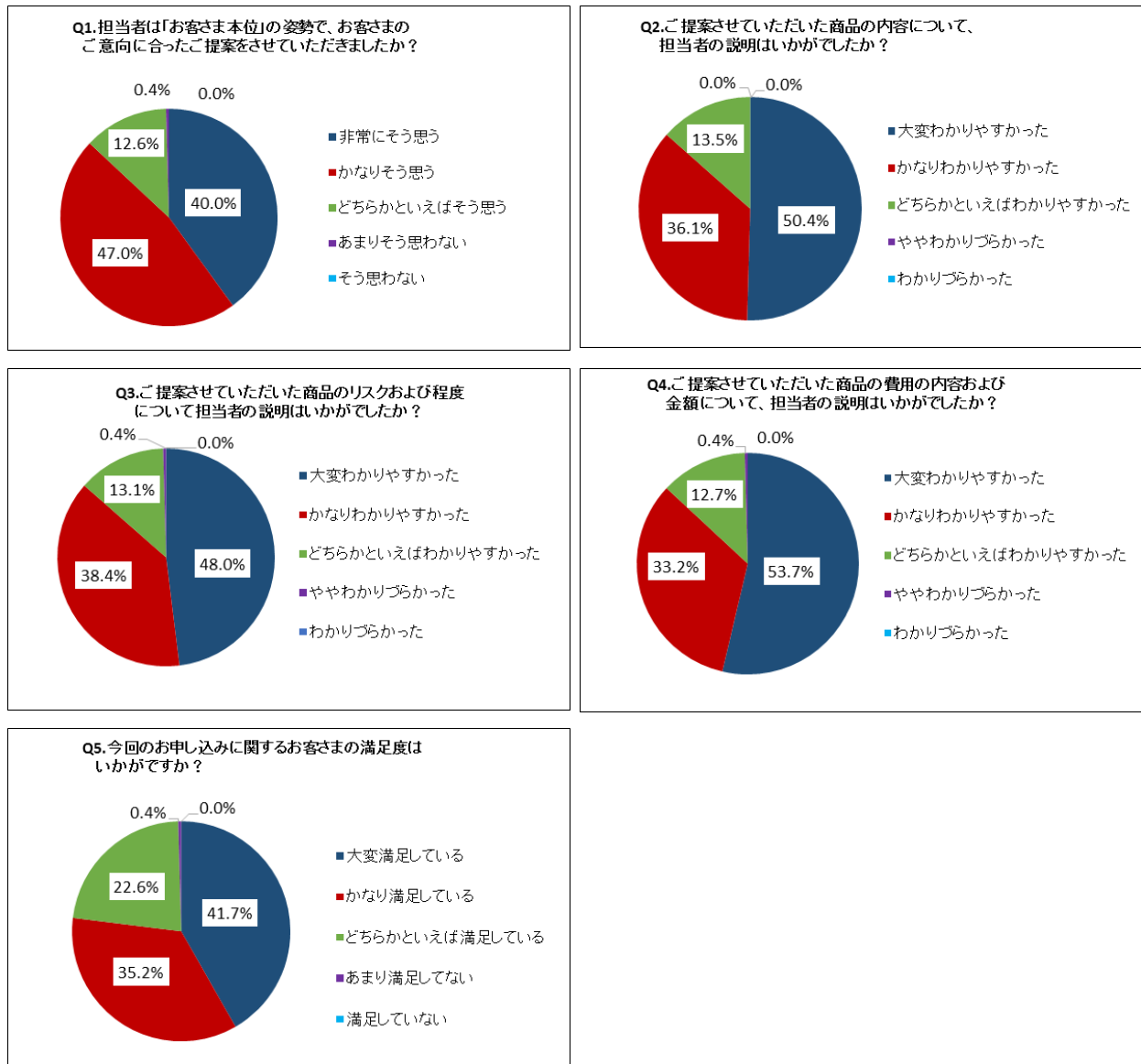
＜NISA 口座数推移／iDeCo 受付件数＞

税制面の優遇がある制度として、NISA・iDeCoを推奨しております。その結果NISAについては、口座数・稼働口座数とも着実に増加しております。iDeCoについても、安定して申込みの受付をしております。



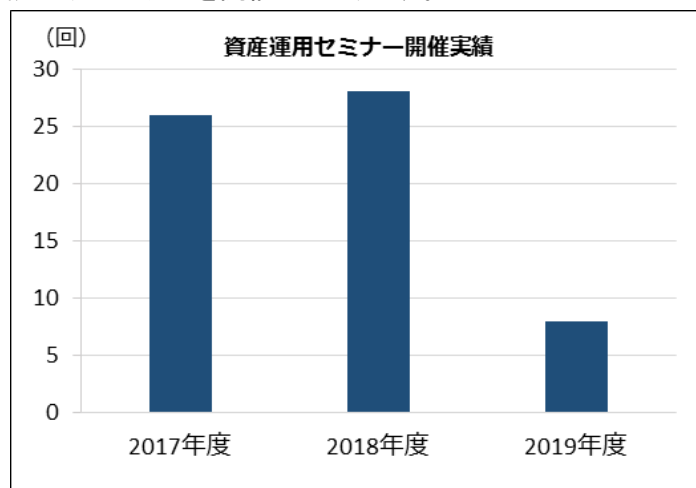
＜お客さまアンケート結果＞

当行の金融商品販売が「お客さま本位」であるかを検証するため、金融商品を購入していただいたお客さまにアンケートを実施しており、結果については概ね良好となっています。今後も、お客さまに選ばれる銀行であり続けられるよう、引き続き「お客さま本位」の金融商品販売を実践いたします。



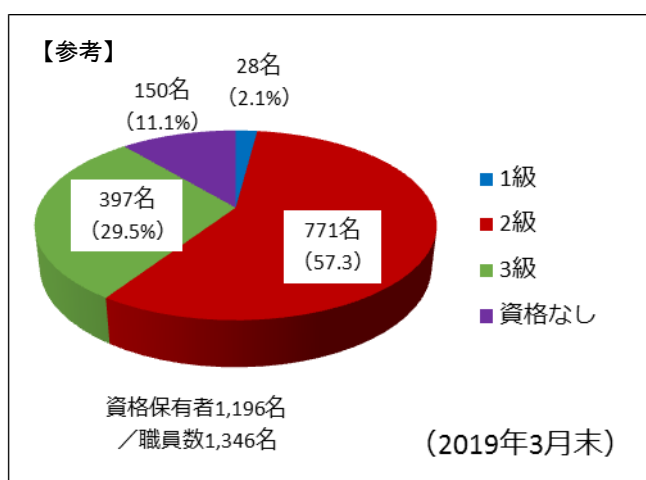
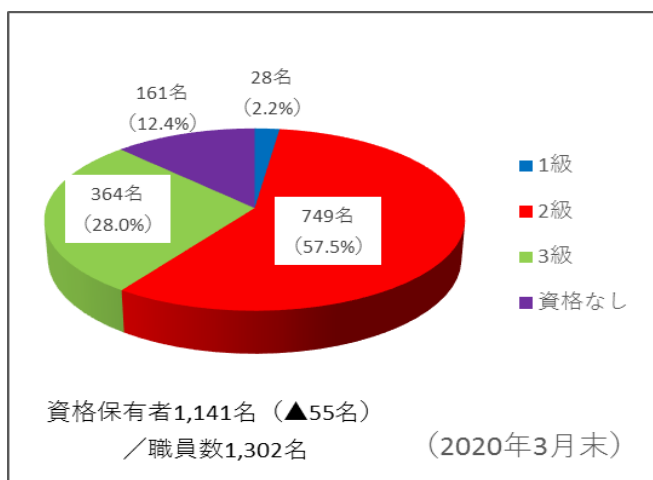
＜資産運用セミナー開催実績＞

お客さまに、金融市場の状況などの情報提供を行うことで、安定的な資産形成のお役に立てていただくことを目的として、定期的に資産運用セミナーを開催しております。



＜ファイナンシャルプランニング技能士 資格保有者数＞

より質の高い提案を行うため、職員のファイナンシャルプランニング技能士資格取得を推奨しています。
資格保有者数については、引続き高い水準を維持しています。



以 上